

# ブロッコリー（アブラナ科アブラナ属）

ブロッコリーは涼涼な気候を好み、生育適温は18~20度です。小さいときは高温に強いが、つぼみの肥大期には耐暑性が弱くなりますが、耐寒性もあまり強くなく、なります。

一方、耐寒性もあまり強くなく、水点下2度以下で凍害を受けます。

7月下旬~8月中旬にまき、11~12月に頂部の花蕾（からい）を収穫し、その後側枝から小さい花蕾を春まで取り続けます。

**品種** 花蕾が作られる早晚で早生、中生、晚生に分けられます。中生品種が作りやすく頂・側枝花蕾兼用の「ハイツップ」（タキイ種苗）、「緑嶺」（サカタのタネ）などが一般的です。「ステイックセニヨール」（サカタのタネ）は小さいつぼみで茎が柔らかく、たくさん取れる家庭菜園向きの品種です。

## 【苗作り】 直径7.5~9cmのポリポットを使い1ポット



図1 苗作り

当たり3~4粒をまき、本葉2~3枚以上で1株に間引きます（図1）。苗作りの期間中は、寒冷しゃで害虫の飛来を防ぎます。

2回目は花蕾が見える頃に施肥します。また、頂部の花蕾を収穫後、側枝の発生を促すため、10gくらい与えます。

病害虫防除（ヨトウムシ、コナガなど）が多いので、トアロー水和剤（CTなど）で駆除します。

**【収穫】** 花蕾が大きくなり、小さいつぼみがはつきりと見え、固く締まった状態が収穫適期。長さ15~20cmに切り取ります（図4）。頂

m当たり苦土石灰100gをまいて、深く土を耕しておきます。植え付け1週間前に畝幅70~80cm、深さ20cmの溝を掘り、この溝1

m当たり化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥2~3kgを施し、土を戻してよく

混ぜて、高さ10cm程度の畝を作つておきます（図2）。

## 【植え付け】 本葉4~5枚の頃、株間45cm程度に植え付けます（図3）。

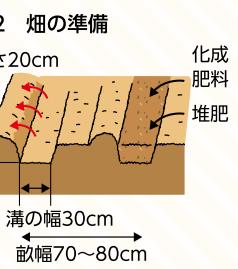


図2 畑の準備

図3 植え付け



図3 植え付け

ブロッコリーは、連作障害を避けるために、同じ場所での栽培間隔を2~3年開けるようにします。水はけが良く、日当たりの良い場所を好み、湿った場所を特に嫌うので注意し、ブロッコリーに適した場所を選びましょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

栽培計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春まき 初夏どり栽培			○		○	●		○		●		
夏まき 秋・冬どり栽培					(早生種) ○	(中~晚生種) ○		○		●		●

○ 種まき □ フレーム内加温育苗 ● 植えつけ ○ 収穫

**【害虫について】**  
防虫ネットが効果的で、土を隙間なく被せることがポイントになります。

**【品種】** 早生~晩生までさまざま種類があり、頂花蕾だけを収穫するものと、脇芽も収穫できる2つのタイプがあります。

家庭菜園で栽培するのであれば、脇芽も収穫できるタイプがおすすめです。

JJAグリーン津店が  
栽培のボクアント  
教えます！



JAグリーン津店 グリーンアドバイザー認定 城 博一



双子座  
5.21~6.21

【全体運】 やる気が新しい扉を開きます。興味があることはそのままにせず調べてみましょう。新しい品種へのチャレンジが吉  
【健康運】 上昇中。筋力アップの運動がお勧め